

# 砂川市少年の主張大会

## 主張全文紹介⑤

### 優良賞「私たちが生きる時代」

砂川中学校2年 浅川 奏芽



皆さんは、何かを発言するとき相手の気持ちを考えてから言っていますか。

最近、誹謗中傷などの言葉の暴力が増えてきています。しかもそれを直接本人に話すのではなく、ラインなどを使って言います。そのようなことを言われてうつになってしまったり、自殺してしまうこともあります。

インターネットはとても便利で、すぐに検索できたり、知らない人ともソーシャルネットワークワーキングサービス（以下、SNS）を通じて友達になれることもあります。しかし良いことだけではなく、SNSは匿名で書き込めるため、そこで根拠のない悪口を言ってしまい相手を傷つけることもあります。これを誹謗中傷と言います。知らない人からの書き込みでも言われた人は心が傷つき悲しい気持ちになります。そのようなことを言う人は、きっと普段の生活でストレスを感じているのではないのでしょうか。しかし、そのストレスのほけ口として悪口などを言って見ず知らずの人を傷つけるのは違うと思います。このようなことは無差別に人を傷つける犯罪と同じではないかと思っています。

私は友達からラインで、部活動のことについて言われたことがあります。とても傷つきましたが、私はそこで負けてはいけないと思い「もっと頑張ろう」とやる気を出しました。今では部活が大好きで、その友達とも良好な関係を築けています。

私の友達も傷ついていました。呼ばれたくないあだ名を注意をしても呼ばれて、しかも一人や二人ではなく多くの人に言われていました。しまいには泣いてしまいましたが、その後も続いていました。友達にも悪いところはありませんでしたが、なぜそこまでするのか私には理解できませんでした。このことは一種のいじめではないかと思いました。言葉は時として武器にもなりますので、しっかり相手の気持ちを考えてから一つ一つの言葉を書いてほしいと思います。

社会的に名前が知られている人が自分の意見を SNS に載せます。その記事についての捉え方が読んだ人によって異なり、載せた本人が思いもしなかった反応を生んでしまうことがあります。例えば、SNS を読んで自分が思ったことをストレートにコメントすると、違う意見の人とぶつかりコメントが荒れることがあります。その時に炎上するのがコメントを書いた人だけでなく、最悪の場合その記事を書いた人も巻き添えを食らうことになります。ですからコメントをするときは、思ったことをサッと書くのではなく、よく考え確認してから書いた方がよいと思います。

私は、自分の意見を言うことは良いことと思っています。なぜなら意見を言わずに、決まったことに対して後から文句を言うのであれば、初めから言うべきだと思うからです。ただ、自分の思いを伝えるだけでなく、周囲の意見なども聞きながら自分の意見を伝えることが大切だと思います。

もう一つ、何かを伝える時はその人と向き合って話した方がよいと思います。ラインとかですとビックリマークやクエスチョンマークを間違えるだけで、全く違う文面になり、誤解を生んだり、相手を傷つけてしまうからです。

私たちが生きる時代は、インターネットが当たり前です。「言葉は刃物なんだ。使い方を間違えると厄介な凶器になる」という名言があります。名探偵コナンで言っていた言葉です。言葉は、殴るけるより人を傷つけることがあります。つまり、言葉の使い方をよく考え、この場面で使っているのかどうかなど、常に相手の気持ちを考えて話すことで、悲しむ人が減り、より過ごしやすい社会になっていくと思います。今一度考えてみてはどうでしょうか。

#### 審査員の講評

インターネット、SNS、確かに私たちの生きる時代には必要不可欠なものです。遠く離れた会ったこともない人とのメールや通話など便利な反面、使い方を間違えると、いじめや犯罪につながりやすいものです。悲しい思いをする人がいなくなるように、使う人、一人一人が正しい使い方をしていきましょう。